

# 春日部市

## (1) 特色ある生涯学習の取組について

### ○子ども大学かすかべ（7年目）

- ・共栄大学を会場とし開校。9月から12月にかけて、4日間（4講座）を実施。

『「日本文化」を学ぶ～販売の世界～』、『「プログラミング」を学ぶ～ゲームクリエイターの世界～』、『「おもてなし」を学ぶ～販売の世界～』、『「世界の教育」を学ぶ～世界を広げよう～』などの学習プログラムに、市内小学校4～6年52人が参加。

### ○市民アカデミー（11/18「春日部市民文化会館 小ホール」）

- ・「人権」「社会教育」をキーワードに、人権ポスター発表、人権作文発表、教育講演会、社会教育関係団体紹介、冊子配布等を行う。

### ○かすかべ郷土かるた大会（11/4「ウイング・ハット春日部」）

- ・春日部市への郷土愛を育み、競技を通して仲間作りを広げることで、青少年の健全育成を目的に実施。

- ・市内小・中学生対象（平成30年度 250チーム 750人参加）

### ○かすかべ遊学フェスティバル2018

- ・市民の日頃の活動の成果発表、学習のきっかけづくりの場として実施。行政・市民団体・学校等による生涯学習推進事業。105事業が参加。

### ○神明貝塚の啓発普及の取組み

- ・神明貝塚は今から3,800年前の縄文時代後期の貝塚で、市教育委員会では国史跡の指定に向け、平成30年度には郷土資料館で企画展「ここまで分かった！神明貝塚と縄文人の暮らし」を実施するとともに、記念シンポジウムを開催した。また、ジオラマを作成し市内公共施設での巡回展示や、市内小中学校8校で社会科授業の出張授業に職員を派遣するなど、市内外へ貝塚の啓発普及に取り組んでいる。

### ○民俗芸能を介した地域と学校との連携

- ・総合的な学習の時間をはじめ、クラブ活動や放課後子ども教室など、地域に伝わる民俗芸能を体験する機会を地域と学校との連携で提供している。また継承する団体にあっては地域の子供たちへ伝承する場ともなり、後継者養成の一助となっている。

### ○小学校への郷土資料室の開設・活用

- ・郷土資料館へ市民から寄贈された民具・農具等の郷土の歴史資料や、埋蔵文化財出土遺物の活用を目的に、平成26年度より小学校に郷土資料室を開設・活用している。小学校が所在する地域で使われていた資料や出土遺物などを展示資料としている。

### ○郷土の歴史・文化に関する企画展を開催

- ・郷土資料館では、郷土の歴史・文化について企画展示を定期的実施し、生涯学習に寄与している。今年度は、春季展示では、収蔵品を主として明治以降の郷土の交通・流通の歴史を紹介し、夏季展示では神明貝塚を紹介する展示会を実施した（詳細は上述のとおり）。また図書館と連携して展示会を開催（12月～1月）した。

### ○文化財保護課・郷土資料館ブログ「ほごログ」の配信

- ・郷土の歴史・文化・文化財に関する情報を配信し、生涯学習に寄与している。

### ○春日部大風マラソン大会（庄和総合公園を主会場とする周辺のコース、ハーフ、

10K、5K、2K)

- ・全国より毎年約1万人の参加者があり、平成30年度は10,413人のエントリーがあった。
- ・多数の市民ボランティアに支えられ、スポーツを通じた交流により、スポーツに親しむ機運高揚、地域の連帯感や郷土愛の醸成に大きく寄与している。

○民間等プール利用、学校プール開放事業

- ・近隣の民間プール及び県営プール利用に当たって利用料金の一部を補助すること、また、市内小学校4校のプールを開放することにより、水泳を通じた市民の健康の増進、スポーツの振興を図ることをねらいとして実施。

(H30 延べ利用者数…民間・県営プール8,875人、小学校プール1,787人)

○各地区2館ずつ配置された公民館

- ・市内には地区が8つあり、それぞれの地区に2館ずつ、計16館の公民館を整備。平成29年度の利用者は46,822回の利用で577,911人に利用された。
- ・特色のある事業として、次代の地域を担う青少年を育成することを目的とした「年少リーダー研修会」、公民館のあるべき姿を市民と共に考える「公民館研究大会」、市内全公民館の利用者の発表、交流の場としての「春日部市16公民館合同フェスティバル」がある。

## (2) 生涯学習活動の支援のための施策について

○彫刻のあるまちづくり

- ・市内にある22体の彫刻をHP等で紹介。それぞれの彫刻の紹介等が掲載され、市民が芸術に触れる一助となっている。

○生涯学習パスポート「はるがく帳」

- ・学んだ内容や取得した資格、学びの成果を生かしたボランティア活動や地域活動などを記録する学習記録帳ノートを市民に配布。学習の記録に応じ100ページ記録する毎に単位認定証、300ページ記録する毎に奨励賞を授与し、学びの振り返り、成果の活用、次の学びへのステップアップにつなげる。

○春日部市生涯学習人材情報登録者の活用事業

- ・人材情報登録者が講師となる「生涯学習市民塾」を実施し、市民の学習の場、登録者の活躍の場となっている。また「かすかべし出前講座」は、市職員講師による「行政編」と市民講師による「市民講師編」からなる。「行政編」では、市の事業などについて説明する講座や、専門知識等を生かした講座など105メニュー、「市民講師編」では、趣味や暮らしに役立つ講座から専門的な講座まで168メニューが設定されている。

## (3) 家庭・地域の教育力の向上のための施策について

○放課後子ども教室

- ・市内21校で実施。学校や地域の状況に応じて、学習、スポーツ・レクリエーション、手芸・工作、昔の遊び等を行い、子どもの安心・安全な居場所を確保すると共に、地域で子どもを育てる環境づくりを推進している。

平成31年度には全校で実施できるよう、準備を進めている。